

サレジオ高専、関西電子と連携

ナノファイバー活用提案

サレジオ工業高等専門学校は、関西電子（東京都大田区、進士国広社長）との産学連携プロジェクトに関する成果発表会を開いた（写真）。関西電子の製造装置を使ったナノファイバーの活用方法を探るもの。デザイン学科の4年生10人が計10通りのアイデアを披露した。



サレジオ高専と関西電子は8月にプロジェクトを始め、関西電子の工場見学や学内での検討会を開いて活用方

法を検討してきた。ナノファイバーの特性を生かした靴の脱臭商品や栽培キット、タオホルダーなどのアイデアが発表された。学生のプレゼンテーションを聞いた進士社長は「短期間にこれだけの成果を出したのは素晴らしい。近く商品化した」とたたえた。両者を橋渡しした全国信用金庫の

連携組織「よい仕事おこしフェア実行委員会」で、事務局を務める川本恭治城南信用金庫理事長は「サレジオ高専には日本中のいろいろな会社と連携してもらいたい」と、今後の産学連携を期待した。

連携組織「よい仕事おこしフェア実行委員会」で、事務局を務める川本恭治城南信用金庫理事長は「サレジオ高専には日本中のいろいろな会社と連携してもらいたい」と、今後の産学連携を期待した。